

「新たなアイススケート場の整備に関する方針(案)」に関するパブリックコメント 手続きの実施結果について

1 概要

令和 3 年 4 月に策定した相模原市行財政構造改革プラン第 1 期に基づき、銀河アリーナの公共サービスとしての必要性等を踏まえ検討した結果、施設を維持するためには、改修や維持管理に多額の費用が必要であることから、銀河アリーナを公の施設として継続することは困難であり、廃止を決定しました。

しかしながら、本市のアイススケート文化を継承していくための施設として、新たなアイススケート場を整備するため、「新たなアイススケート場の整備に関する方針」を策定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、37人(市内在住者28人、市外在住者9)の方から57件のご意見をいただきました。意見募集の概要、お寄せいただいたご意見についての内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見につきましては、今後の取組に活かしてまいります。

2 意見募集の概要

(1)募集期間 令和 8 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火)

(2)募集方法 電子メール、郵送、直接持参、ファクス

(3)周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

スポーツ施設課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(城山、橋本、中央6地区、大野南を除く)、各出張所、各公民館(沢井公民館を除く)、各図書館、公文書館

3 結果

(1)意見の提出方法

意見の提出方法		意見数
内 訳	電子メール	25人(41件)
	郵送	2人(3件)
	直接持参	7人(10件)
	ファクス	3人(3件)
合 計		37人(57件)

(2)意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画案等に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他(今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など)

(3)件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
1 方針の前提に関すること	0	0	0	0	0
2 アイススケート場の必要性について	4	0	1	2	1
3 新たなアイススケート場設置の計画上の位置付け	0	0	0	0	0
4 整備に関する考え方	4	0	0	0	4
5 相模原麻溝公園内の整備地の検討	26	0	0	25	1
6 スケジュール(想定)	0	0	0	0	0
7 その他	23	0	0	21	2
合 計	57	0	1	48	8

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
2 アイススケート場の必要性について			
1	先日のNHK のおはよう日本で放送されたように、常設のスケートリンクがあることは、当市のイメージの維持に繋がります。 それをさらにアップするには、ショートトラックかフィギアかカーリングのどれかは分かりませんが、より重点的な資源投入が必要だと思います。	いただいたご意見を参考に、今後の整備に向けた検討に取り組んでまいります。 また、銀河アリーナでは、ショートトラックスピードスケートやアイスホッケーの利用が多いことから、新たな施設を整備する際には、現在の利用状況等を踏まえ、機能や設備等を検討します。	ウ
2	方針(案)は、令和7年7月の市民アンケート等で「肯定的な意見が多数を占めた」ことを整備を進める根拠の一つとしている。 しかし、市民アンケートの設問は負担額を示さずに「市が経費の一部を負担する」ことの賛否を問うのみであり、金額の前提のない賛意を、特定の規模の公費支出に対する市民の同意とみなすことはできない。 また、オープンハウス型説明会(賛成550/582人)は、スケート場の説明会に自ら足を運んだ関心層が中心の自己選択的な回答であり、市全体の民意を代表する数値とは言えない。市民アンケートの回答率も21.8%にとどまる。 「賛成多数」を整備への市民同意の根拠として用いることの再考を求める。	事業費については、本年度に予定している基本計画を検討していく中で算出していく予定です。 また、基本計画の策定に当たっては、改めてパブリックコメントを実施し、市民の方々のご意見を伺うことを想定しています。 また、意見聴取については、オープンハウス型説明会のほか市民アンケートや小学生向けアンケートなど実施してまいりました。なお、オープンハウス型説明会においては、会場周辺にいた方々や会場で資料等に興味をお示しいただいた方々にお声がけするなど、会場および周辺の利用者・通行者を主な対象者として実施したものです。	ウ
3	厳しい財政状況を理由に既存施設を廃止する一方で、新規施設に公費を投じるのであれば、何を断念して財源を捻出するのか(他の施策との比較、市民一人当たりの負担)を市民に示す責任がある。 利用者が限られ、市外利用者も相当数見込まれる施設について、市の負担で整備する妥当性の説明を求める。	新たなアイススケート場の整備は、本市に根付いたアイススケート文化を継承する必要性の観点において、民間活力を最大限活用し、本市に根付いたアイススケート文化を継承する必要性の観点において、「大都市としての役割・責任を果たしながら、不断の行財政改革を行うことで、自立的・効果的かつ持続可能な行政運営を推進	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
		し、都市や地域の活性化と魅力の向上に継続的に取り組む」というさがみはら都市経営戦略における基本的な考え方に合致しているものです。	
4	雪や氷に親しむことのない相模原に、アイススケート場があることは子供の頃からアイススケートになじむことができ、その中から本格的に「やりたい」と思う子どももいると思う。早朝に格安でスケートできたので子供達をつれて行きました。とても良い体験をさせることができたと思います。維持費が大変とは思いますが、無くさないで欲しい。夏場のプールも貴重です。今あるものをこわしてわざわざ新しくするというのは浪費です。「お金がない」と言いながらむだなことはしないで。	銀河アリーナについては、老朽化から建替えを検討していたところ、行財政構造改革プランにおいて廃止を決定したものです。 しかしながら、本市に根付いたアイススケート文化を継承する必要性から新たなアイススケート場を整備することにいたしました。 なお、プールについては、利用者減少などの理由により令和元年度から休止しています。中央区横山にある市立総合水泳場(さがみはらグリーンプール)など市内にあります他のプールをご利用ください。	エ
4 整備に関する考え方			
5	これまで、本件については、麻溝台公園内に公設民営で整備がされる方向で市も取り組んでいるとの一部報道がされているものです。 私案では、40年前に淵野辺公園内に銀河アリーナとして、プールと併用の施設で整備がなされた歴史を持ち愛され利用がされてきたもので利用者の大半は小・中学生と認識しています。 こうしたことから淵野辺駅を最寄駅とした好立地にある当公園の留保地に公設民営で整備すべきと考えます。 麻溝台公園内では車を利用しなければな	新たなアイススケート場の整備場所については、令和6年度に実施した「民間アイススケート場実現可能性等調査」で候補地となった都市公園のうち、相模原麻溝公園については既存の公園利用者との相乗効果が見込めること、銀河アリーナの利用形態と同様に練習中心型の施設とすることで、既存利用者の多くが新たな施設を利用できることなどメリットが多くありました。 また、淵野辺公園については、整備	エ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	らず、原当麻駅は単線の遠方の駅で利便性は劣ります。 また、本件に伴い銀河アリーナの再利用も図らなければなりません。同施設は市長がスケートボードの金メダリストの吉沢恋氏に約束した屋内施設として改修すべきものと考えます。 これにより、淵野辺公園は、アイススケート場、スケートボード場、ひばり球場の低年齢者の利用に供される活気と賑わい、憩いの場として市民から更に親しまれることでしょう。 そして、淵野辺駅南口は公共施設の移転により再開発が予定されており、青山学院大学外4校の最寄り駅でもあることから大学生にも利用が広がり、同駅周辺は鹿沼公園のリニューアルと淵野辺公園利用者、JAXA、博物館利用者が滞留する構造、相模原駅に匹敵するものとなり、その核となるのがアイススケート場となるものです。	場所となる土地を国が所有しているため、運営等に一定の制約が生じること、また、建築基準法上の用途地域により建物の種類や大きさに制限があることなど、課題が多い状況でした。 こうしたことから、総合的に検討した結果、相模原麻溝公園を新たなアイススケート場の整備地としたものです。	
6	利用者には子どもも多く、現状はバスの本数が少なくアクセスが悪い状況です。早朝・夜間の練習もあり、安全に通える環境のためにも、駅から近い場所での整備を強く希望します。	新たなアイススケート場の整備場所については、令和6年度に実施した「民間アイススケート場実現可能性等調査」で候補地となった都市公園のうち、相模原麻溝公園については既存の公園利用者との相乗効果が見込めること、銀河アリーナの利用形態と同様に練習中心型の施設とすることで、既存利用者の多くが新たな施設を利用できることなどメリットが多くありました。 こうしたことから、総合的に検討した結果、相模原麻溝公園を新たなアイススケート場の整備地としたものです。	工

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
7	旧市体育館跡地では狭いのでしょうか。	新たなアイススケート場の整備場所については、令和6年度に実施した「民間アイススケート場実現可能性等調査」で候補地となった都市公園のうち、相模原麻溝公園については既存の公園利用者との相乗効果が見込めること、銀河アリーナの利用形態と同様に練習中心型の施設とすることで、既存利用者の多くが新たな施設を利用できることなどメリットが多くありました。 こうしたことから、総合的に検討した結果、相模原麻溝公園を新たなアイススケート場の整備地としたものです。	工
8	・銀河アリーナ廃止、解体はいつするのですか。そのままにして置くのですか？どのくらいの解体経費がかかるのですか。何年かかるのですか？この場所にスケートリンクをつくることはできないのですか？私は、今はスケートをしていません。会議室で太極拳を楽しんでいます。交通便もまあいいし。環境も最高！ふちのべは、相模原市の中心部なので小学校のスケート教室にそれほど交通時間もかからずに最適な場所と思います。 ・新スケート場に麻溝公園が上がっています。南の奥に位置し、まず公共交通はないです、駐車場はサッカー、ホッケー大会あれば、溢れるようですし。子供たちの環境を考えるとおちついた場所がいいと思います。 ・橋本駅周辺推進事業にリニア駅上、リニアトンネル上の大西大通り線などで330億もの多額、みんなの税金使用は止めて、夢あるアスリートたち、未来ある子供たちのためにステキなスケートリンク場ができることを望みます。	新たなアイススケート場の整備場所については、令和6年度に実施した「民間アイススケート場実現可能性等調査」で候補地となった都市公園のうち、相模原麻溝公園については既存の公園利用者との相乗効果が見込めること、銀河アリーナの利用形態と同様に練習中心型の施設とすることで、既存利用者の多くが新たな施設を利用できることなどメリットが多くありました。 また、淵野辺公園については、整備場所となる土地を国が所有しているため、運営等に一定の制約が生じること、また、建築基準法上の用途地域により建物の種類や大きさに制限があることなど、課題が多い状況でした。 こうしたことから、総合的に検討した結果、相模原麻溝公園を新たなアイススケート場の整備地としたものです。	工

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
5 相模原麻溝公園内の整備地の検討			
9	通年利用できるリンクの整備を求めます。 夏季に他のリンクへ移動せざるを得ない現状では、利用者が定着しません。	現在、利用期間については、通年で利用できるアイススケート場を検討しています。	ウ
10	我が子は、銀河アリーナでのアイスホッケースクールに参加することでスキルアップできました。銀河アリーナがあったおかげで、相模原市には、アイススケート場が必要であり、民間活力を最大限活用することを前提とした新たなアイススケート場を整備する方針に全面賛成です。 予定場所は、今の銀河アリーナでも良いのではと思いますが、麻溝公園内での予定も異論ありません。 リンクのない空白期間を少なくして、なるべく早い供用開始をお願いしたいと思います。	いただいたご意見を参考に、今後の整備に向けた検討に取り組んでまいります。	ウ
11	会議室よりも児童が暖を取れる休憩室と十分な数のトイレが必要な筈	施設の規模や必要な諸室については、今後検討していくこととしていきますので、ご意見を参考に検討していきます。	ウ
12	方向性: 夏季はプールではなく、屋内野球場やフットサル場などに。(プールは整備費が高いので反対) ※整備費を抑えつつ、夏季設備利用率を上げるべき。	新たな施設用期間については、通年で利用できるアイススケート場を検討しています。現在の銀河アリーナやご意見のように夏季に利用形態を変えることは、改修工事を年間2回実施しなければならず、実施する予定はありません。	エ
13	形態: 練習中心形としてほしい。興行は、横浜や都心、立川にスケート場があるため、採算が合わない気がします。	令和6年度の調査においても本市には練習中心型の施設の方が良いとの結果が出ております。また、銀河アリーナの利用者は、練習中心となっています。 こうしたことを踏まえ、いただいたご意見を参考に新たな施設の規模等について検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
14	新施設は競技利用だけでなく、市民の一般利用、学校行事、スケート教室などこれまで銀河アリーナが果たしてきた役割を継承出来る規模、機能を確保していただけるようお願い致します。 新たなスケート場の整備にあたっては単なる施設更新ではなく地域のスケート文化や人材育成を継続出来る環境づくりを重視していただきたいと思います。よろしくお願い致します。	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ
15	本方針(案)に示された「民間活力を最大限活用し、一部公費負担(公設民営)を前提として新たなアイススケート場を整備する」という方向性に強く賛成いたします。 その上で、新施設を整備・運営するにあたっては、冬季限定の施設とするのではなく、年間を通じて稼働可能な「完全な通年型(年中無休)スケートリンク」として計画を具体化することを要望いたします。 【理由および背景】 1. 財政の効率化について 方針案の資料において、かつて銀河アリーナで水泳プールとスケートリンクの切り替えを行っていた際、毎年約2,100万円の費用が費やされていたことが示されています。 プール機能がすでに休止・廃止の方向である今、新施設を最初から「通年型リンク」として整備・稼働させることで、過去のようなシーズンごとの切り替えコストを完全に排除できます。 さらに、夏場には「避暑を兼ねた一般レジャー需要」という強力なコンテンツとして設備投資を最大効率で回転させることが可能です。 市が経費の一部を負担するからこそ、長期的な一般財源の支出を抑え、自立した健全経営を達成するためには、年間を通じて途切れることなく安定した利用料収入を確保できる「通年営業」が合理的だと考えます。	現在、利用期間については、通年で利用できるアイススケート場を検討しています。 また、施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	2. 首都圏の需要流入について 現在、首都圏における通年型スケートリンクは深刻なキャパシティ不足に陥っています。 私は50代ですが、趣味でスケートをしており、現在は練習場所を確保するために立川まで通っている状況であり、周辺地域の多くの利用者が、新横浜や東神奈川といった限られた施設や、あるいは都心の千駄ヶ谷や辰巳といった遠方の施設まで多大な時間と交通費を費やして通わざるを得ないのが現状です。 これら既存 of の通年リンクは、早朝から深夜まで競技者や一般客で常に飽和状態にあります。 本方針案で最有力候補地とされている「相模原麻溝公園」に通年リンクが整備されれば、現在横浜・東京方面へ流出している広域からの熱心な利用層(中長距離からでも交通費を惜しまず日常的に通う層)を一手に吸収することができ、オープン初期から確実に高い稼働率を見込むことができます。 オープンハウス型説明会でも市外在住者の9割以上が賛成しているデータが示す通り、広域からの集客ポテンシャルは高いと考えます。 3. スクール事業の収益性について 近年、フィギュアスケートはテレビ放送やアイスショーの普及により、単に「観る」だけでなく、一生の趣味や習い事として「自分も滑ってみたい」と大人になってからリンクへ通い始める愛好家が激増しています。 こうした大人の愛好家層は、趣味に対して自己投資ができる高い購買力を備えています。 定期的なスクール受講はもちろん、個人レッスン、早朝・夜間の貸切利用など、施設に対して安定的かつ高い顧客単価をもたらす優良な利用者層です。		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	しかし、冬季限定のリンクでは、せっかく始めた大人の初心者が春先に練習を絶たれてしまい、顧客として定着しません。 方針案にある「幅広い層に対応したスケート教室の実施」を成功させ、経営の基盤となる固定顧客(スクール生)を年間を通じて維持するためにも、通年営業の環境が不可欠だと考えます。 4. 多様な競技環境の整備について 60年以上続く小学校のスケート教室や、オリンピック選手を輩出してきた「相模原スピードスケートクラブ」、活動団体の6割を占めるアイスホッケーなど、相模原市が積み重ねてきた氷上スポーツの資産は貴重です。 さらに、フィギュアやホッケーだけでなく、氷上スポーツの裾野は広がっています。 私自身、今年3月に銀河アリーナでカーリングを体験し、その奥深さと面白さに魅了された一人です。 しかし、銀河アリーナが5月で今シーズンの営業を終了してしまい、カーリング協会の関係者から「今後は辰巳などで練習をする」と聞きました。 私のように市外から通っていた一般の愛好家がカーリングを続けたくても、そこまで遠方へ通うのは難しく、私は諦めざるを得ませんでした。これが今の実情です。 方針案に掲げられている「国際規格のメインリンク(30m×60m)とサブリンクの併用」や「ショートトラック・アイスホッケーの試合・練習環境の確保」という機能を通年で稼働させることは、カーリングを含めた多様な氷上競技の愛好家が年間を通じて活動を継続するために不可欠です。 子どもたちの夢を支えるジュニア育成だけでなく、大人世代が年間を通じて心身の健康維持に励める「生涯スポーツの拠点」と		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	して機能させることで、市民の健康増進とシビックプライドの醸成、そして「スポーツ先進都市・相模原」としての新しいブランド価値の確立に大きく寄与するはずだと考えます。 【結びとして】 本事業が、プール廃止を機にこれまでの財政的ロスを適正化し、民間の柔軟な知見と活力を最大限に活かした「冬季に限定されない運営」を実現させるためにも、ぜひ「通年型リンク」としての整備を英断していただきますようお願い申し上げます。		
16	銀河アリーナは、行財政構造改革プランに基づき、改修・維持に多額の費用を要し財政上継続が困難として廃止が決定された。一方で、公費を投じて新施設を整備することは、同じプランの論理と矛盾する。 完全民営(民設民営)が成り立たないと結論された経緯は、補助なしでは事業が成立しないことを意味する。「民間活力を最大限活用」との表現にかかわらず、公費負担が前提である以上、市が見込む総事業費と、PFI等を採用した場合の市の実質負担額を明示すべきである。 概算の総事業費(建設費・維持管理費・必要となる立体駐車場等の関連整備費を含む)と、市の実質負担額・市民一人当たりの負担額を明示し、その上で改めて市民意見を聴取することを求める。 これらが示されるまで、本方針の決定を保留すべきである。	事業費については、本年度に予定している基本計画を検討していく中で算出していく予定です。 また、基本計画の策定に当たっては、改めてパブリックコメントを実施し、市民の方々のご意見を伺うことを想定しています。	ウ
17	新たなアイススケート場の整備に関する方針(案)について、子育て世代の市民として意見を提出します。 私は相模原市へ就職を機に転居しましたが、当初は利用したことがありませんでしたが、子どもが生まれ、成長する中で利用するようになりました。こどもの通う園では年長	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	児のスケート保育があり、市立小学校では長年にわたりスケート教室が実施されています。スケートは相模原市の子どもたちが身近に体験できる数少ない冬季スポーツであり、子どもの体験機会として大きな価値があると感じています。そのため、新たなアイススケート場の整備には賛成です。 一方で、実際に銀河アリーナを利用する中で、施設の老朽化に加え、子ども用トイレやベビーケアルームなど、子育て世代が利用しやすい設備が不足していると感じていました。上の子がスケートをする際には、下の子の兄弟姉妹や保護者も一緒に来館することが多くあります。新施設の整備に当たっては、競技利用や学校利用だけでなく、子育て世代や一般市民の利用を想定し、子ども用トイレ、ベビーケアルーム、休憩スペースなどの整備を検討していただきたいと思います。 また、整備候補地である麻溝公園については、公園利用者として大きな違和感はありません。しかし、休日は既に駐車場が混雑しているため、駐車場対策は重要だと考えます。さらに、新しいスケート場は単独施設としてではなく、隣接する相模原公園も含めたエリア全体の魅力向上という視点で検討していただきたいと思います。例えば、飲食や休憩機能を充実させることで、家族が一日過ごせる場所となり、公園全体の回遊性向上や利用促進にもつながるのではないのでしょうか。 私自身、スケート場のみを目的として頻繁に利用するわけではありません。しかし、公園や周辺施設とあわせて楽しめる環境が整えば、利用機会は増えると感じています。税金を投入して整備する以上、競技利用だけでなく、市民全体に価値が還元される持続可能な施設となることを期待しています。		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	また、今後施設の機能や運営方法を検討する際には、競技団体だけでなく、子育て世代を含む一般利用者の意見を取り入れる機会を設けていただければと思います。市民参加型のワークショップや意見交換の場があれば、利用者の立場としてぜひ参加したいと考えています。		
18	本方針は市民生活やスポーツ活動に大きな影響を与えるものであることから、より多くの市民の意見を把握するため、説明会の開催や意見交換の機会を設けるなど、丁寧な市民参加の取組も必要であると考えます。 また、新たなスケート場については、競技利用だけでなく、市民利用や学校利用、スケート教室など、銀河アリーナが果たしてきた役割を継承できる施設として整備されることを望みます。加えて、家族連れや一般利用者も気軽に利用できる休憩スペースや飲食スペース等を備え、多くの市民に親しまれる施設となることを期待します。 そのため、市には以下の事項を求めます。 1. 新たなスケート場の供用開始時期を明確に示すこと。 2. 新施設供用開始までの利用者の活動環境・練習環境の確保策を具体的に示すこと。 5. 新施設において、市民利用・学校利用・競技利用のいずれにも対応できる機能を整備すること。 6. 公式大会等の開催が可能な設備を備え、将来を担う競技者の育成につながる施設とすること。 7. 大規模校の利用にも対応できる十分な休憩室、更衣室、観覧スペース等を確保すること。 8. 家族連れや一般利用者の利便性向上のため、休憩スペースや飲食機能の充実を図ること。 新たなスケート場の整備は歓迎すべき取組ですが、その実現過程において現在利用	施設の規模や整備スケジュールについては、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。 また、基本計画の策定に当たっては、改めてパブリックコメントを実施し、市民の方々のご意見を伺うことを想定しています。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	している市民の活動環境が失われることのないよう、十分な配慮と具体的な移行計画の策定を強く要望します。		
19	アイスホッケー公式戦(関東ブロック大会)が誘致できるスケートリンクと付帯設備が必要と考えます。 それにより、早朝・夜間のアイスホッケーチームの練習や、練習試合の貸切利用の売り上げ増大、各カテゴリーの市内・県内・関東ブロック予選会、国スポ等の大会利用が可能になり、一般営業の入場利用者と貸し靴代に頼らない、固定収益が望める。 ① 60m×30mの国際規格のスケートリンク フェンスおよびハイボード、ゴール裏のネットリンクサイドに、本部席(スコアボード操作・アナウンス席)とその両サイドにペナルティボックス(2チーム分選手)その背後に、大会本部室(会議室①)とレフェリー控室(会議室②)、および監督会議用会議室(会議室③)本部席と反対サイドに、選手ベンチ(2チーム分・間隔をあけて)とその背後に選手控室(4チーム分・一般営業中はロッカールームとして活用) 2026-27_iihf_rule_book.pdf 18 ~ 24 ページ参照 ② スコアボードとゴールランプ、ゴールジャッジブース 第3ピリオドおよび延長戦のまでの計時表示ができ、試合(プレー)が止まった時、時計を止めた時にゴールランプの緑色ランプが連動して灯くもの選手得点時に、ゴール選手番号とアシスト選手番号(2名まで)が掲示できるもの反則(ペナルティー)発生時に、選手番号と計時表示ができるもの(2名×2チーム分)ゴール裏のリンクサイドに、得点したかを判断するゴールジャッジが座る	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	席と頭上のゴールランプのN/OFF するスイッチスコアボードは、日本アイスホッケー連盟公認ダクトロニクス社製が軽量・安価で、カーリングやフィギュアの大会計時を組み合わせてオーダーメイドできる。 Daktronics Japan Daktronics Hockey Scoreboards, LED Video and Sound Systems ③ サブリンク 初心者・児童の利用やスケート教室の活用が望まれる。できれば、カーリングシート2面分(45.720m×4.750m×2面=45.720m×9.5m)の広さがあると、メインリンクを利用し、カーリング公式戦が開催できる。(カーリング協会への確認必要)rule-2025-09-01-37.pdf (9ページ参照) ④ 資材倉庫 ゴールやカーリングストーン、ショートトラックのコーナー設置のクッション材の保管庫 ⑤ 観客席 ジュニア選手の保護者が、選手と別のフロアで練習風景や試合を件戦できるよう、最低限の観客席が必要である。できれば、有料大会が開催できるよう、観客席2,500～3,000 席あれば、アジアリーグやXHLリーグの試合開催できる。それにより、このリンクをホームとするXHLリーグチームが移籍してくる可能性もある。また、身障者用観客席とエレベーターがあると良い。立地的に、銀河アリーナも八王子や多摩地域の大学チームの練習拠点として早朝・夜間需要があり、安定収入源とするためにも、最低限①および②の付帯設備を要望します。		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
20	スケートリンクをつくることには賛成です。相模原麻溝公園内の第4駐車場はいつも公園に子供を連れて行くのに利用していますが、天気の良い週末はいつも混み合い、ギオンスタジアムでイベントのある日は停める場所がなく苦労しています。いまでも苦労しているのに、その第4駐車場にスケートリンクができれば、人ばかり増え、駐車できなくなると懸念しています。ここにつくるのであれば、車が必要ないくらいバス便を増やしてほしいです。また、本当に民間活力を活用するならば、駅近くなど、みんなが利用しやすい場所につくった方が収益も見込めてよいのではないのでしょうか。利益のある方が協力してくれる民間があらわれるのではないかと思います。	第4駐車場に整備するに当たり、現状の駐車台数が減少されないように立体駐車場を整備することを想定しています。 駐車台数の確保については、自走式の立体駐車場など整備効果も含め今後検討してまいります。	ウ
21	銀河アリーナ利用者の約7割が一般利用、貸し靴での利用者も5割になります。その実情を見ると市民に根付いたアイススケート文化の継承、シビックプライドの醸成を新リンク整備の重要な視点と置いていることは賛成できます。 一方で新リンク整備に民間活力を最大限活用するとされており、民間業者による運営となります。民間での運営においても上記視点を堅持し、競技・一般に関係なく全利用者に公平で他の民間リンクにはない特徴のある施設・運営になることを望みます。 また今後の細部の検討や営業開始後においては利用者の意見を聞くとともに、市も積極的に関与されることを希望します。 ①リンクサイドに休憩室の設置を希望します。夏でも氷の状態を維持するにはリンク内の気温は銀河アリーナより下がるはずで、気温の低いリンクサイドでは子供や高齢者は休憩しにくいと考えます。小学校のスケート教室などの団体利用の際でも同様で	施設の規模等については、本市や周辺自治体のスポーツ施設の状況を踏まえ、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	す。リンクサイドに休憩室があれば、スケートをしていない保護者が寒さに耐えずに子供を見守ることもできます。「来て楽しかった、また来たい」となる環境整備をお願いします。 ②観客席を設ける検討をお願いします。小さな大会(特に子供)を行う場合、保護者が観覧できるのが望ましいと思います。アイスショーなどの興行ができるような席数は必要なく、数十から百席というレベルでしょうか。リンク部に比べ天井の低い事務所や更衣室の上に観覧席を設けるとか、メイン・サブリンク間を広く取り、必要な時に仮設の観覧席を配置するなどの工夫があると思います。 ③軽食が摂れるカフェなどの設置ができるか検討をお願いします。利用者の中でも子供は運動で空腹になることが多いと思います。休憩においても単に休むだけでなく何かをつまむことでより良い休憩になると思います。リンク利用者だけでは売り上げは少ないと思いますので、リンク外からも利用できるようにすれば、公園利用者や地域の方の利便性も上がると思います。具体的には、駅で改札の内外両方から利用できる店舗のような構造や、リンクのフロント(ゲート前)に設置しリンク利用者は入退場可能にするなどが考えられます。 ④リンク外からスケートをしている姿が見える工夫を検討願います。数十年にわたって良い施設であり続けるには通年営業による利用者増だけでなく、全体利用者数の底上げが重要だと思います。令和7年のアンケートでもスケートをしたことがない割合が3割あり、市の施設整備としての賛同を得るためにもここの掘り起こしが必要です。スケートをしている姿をリンク外から見えるような形にして、「ここでスケートできるんだね」「面白そうだから私もやってみたい」となる		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	広告塔にすることはできないでしょうか。 建物外から見えるようにするには断熱の課題があると思いますので、リンクのフロント部のカフェを設置できるのであれば、カフェ利用者から見える形にするのも良いかと思います。		
22 ・ 23 ・ 24	銀河アリーナでは、複数のカーリングの競技団体が活動しております。ミラノ・コルティナオリンピックのカーリング競技に出場した小谷優奈選手は小学生の時に銀河アリーナでカーリングをはじめ、練習を積んできました。 新アイススケート場の設備を検討する際には、カーリングシートが作れる規模のサブリンクの設置を希望します。また、ストーンやハック、アイスメーク用の機器の導入も希望します。	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ
25	○「民間活力を最大限活用し、かつ、特定財源を活用するなど一般財源の支出を抑えられる手法を検討する」とのことだが、検討に時間を浪費することなく、スピード感をもって対応していただきたい。本件には、市民に必要とされているものですので、ある程度の市の財政負担はやむを得ないものだと考えます。 ○ 新アイススケート場の設備を検討する際には、カーリングシートが作れる規模のサブリンクの設置を希望します。また、ストーンやハック、アイスメーク用の機器の導入も希望します。 ○ 東京都江東区辰巳のアイスアリーナとの競争に打ち勝つ施設の充実を目指していただきたいです。	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ
26	●新施設の利用計画はハード・ソフト両面を 現在の銀河アリーナは、スケート教室が広く行われ市民の利用が盛んである一方、十分な客席があるにも関わらずイベント利用・大会利用がごく少ない点は非常にもったいない状況です。 一方で、木下カンセーアイスアリーナや尼	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	ヶ崎スポーツの森など、駅から遠い立地ながら、魅力ある独自イベント・アイスショー誘致・大会開催をし、全国から集客できている公営リンクもあります。 最初に施設・設備を作るだけでなく、施設規模や内容にあわせた運用予算・計画や、各競技連盟との利用計画を持たれるように希望します。 ●フィギュアの活用 6（4）でフィギュアはまったく無視されています。フィギュアスケートについては、神奈川県内では多くの有力選手が活動しており、銀河アリーナの客席数も全日本ジュニア選手権なども開催可能な規模であるにも関わらず、すべて新横浜スケートセンターで集中開催しているのはどのような事情によるのでしょうか？ 例えば、ミラノ五輪銀メダリスト鍵山優真選手は大学進学まで神奈川県所属でしたが、銀河アリーナで演技を披露したことは一度もありません。大きな集客や地域ブランド向上にできる競技ですので、新施設での対応主要競技への追加を希望します。 ●競技振興と人材の活用 各競技バランスよく公認の教室やレッスン活動を設定することにより、競技力の向上とともに県内人材の活用を図ることを希望します。 県内他の2リンクでは東神奈川14名・新横浜27名のフィギュアスケート専属インストラクターが活動しているのに対し、銀河アリーナは0名(営業禁止)です。氷上競技を習いたいという大きなニーズがあるのに対応できていないことは残念です。また、横浜で日本カーリング選手権大会が開催されていることにより、カーリングへの関心も大きく高まっています。曜日・時間帯・リンクエリア分けなどを工夫すれ		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	ば、様々な競技がレジャーレベルから競技レベルまでリンクを活用することが可能です。 ●市民大会 現状ショートトラックのみであるため、ホッケー・フィギュア・カーリング、また氷上運動会といったレクレーション要素のあるものなど大きく振興をはかる余地があります。 ●アクセスの確保 駅からより遠くなるため、駐車場の確保・送迎バスの運行・シェアサイクルの整備を希望します。送迎バスについては、尼ヶ崎スポーツの森や辰巳アイスアリーナが実施しているのが参考になります。		
27	こういったパブリックコメントとその返答にも言えることであるが、政策に関わる全体的な市側の姿勢として、「市がどう考えるか」の視点を強調する一方で「市の行動や発言をどう理解されるか」の視点への鈍感さが窺える。 文化・スポーツに関わる公共施設等の整備において、市は二言目には民間活力の活用というが、相模原市に投資しようとする「民間」にそれほどの当てがあるのか。民間が手を付けかねても公共性がある物事を担保することこそ公的事業の役割であることを考えると、公共施設整備について相模原市以外の誰かが相模原のために金を出せと言わんばかりの安易な民間活力の活用論はその責任放棄に聞こえる。実施中の事業においても現にアートラボはもし二度に渡って事業者の辞退により計画が頓挫しており、現状をみるに当事業もその二の舞を予感させる。 市が言う民間活力の活用が「民間が乗らないからできませんでした」という他責と言いつの用意になっているようにしか感じられない。近年の市の言動態度を見る限り、民間には投資先を選ぶ自由があり、投資先として必ずしも相模原を選ぶ必要はないことを	施設整備のスキームや事業者の意向、施設の規模等については、基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	理解しているのかすら疑問であり、結果として投資者を他市に逃す失態を晒しては「一企業の事情は市の関与するところではない」との言い訳を聞かされるばかりである。民間に要求するより先にまず市の方こそが設置と運営に本気と主体性を見せてはどうか。現状の市の態度では民間は集合住宅や物流倉庫やデータセンターの設置など直投的な事業に限る投資であればまだしも、アートラボや銀河アリーナ代替スケートリンクのような企業メセナ的な投資先として敢えて相模原を選んでくれるようには全く思えず、相模原市自体の牽先なくしてそういった施設が相模原にもたらされることはないを考える。 銀河アリーナに期待されていたものは「民間のリンクの少なからずが廃業に追い込まれる中で、民間事業と異なり一時の収益に左右されない公営ならではの安定した運営継続」であったはずであり、再設置の方向に意見を騒がしたとはいえ、市営で設置している他市の事例が極めて少ないことが周辺地域に他にない価値と文化を付与する運営継続の動機ではなく廃止理由になると判断したことそのものが市に対する大きな失望を買うものであったことを理解するべきである。 6 検討の視点について アイススケートリンクとしての通年利用を前提とすることを明記するべきである。 ショートトラックスピードスケート及びアイスホッケーの試合や練習に加え、カーリングについても同様に整備し、またその旨を記載するべきである。 施設面の整備のみならず各種競技の競技団体そのものの誘致を同時に進めると共に誘致対象となる競技団体やその協会から積極的に施設運用の利便について聞き取りを行い、その都合に合わせた施設整備を進め		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	てはどうか。一団体への利便供与が云々よりも施設そのものに大口の安定した利用者やイベントを定着させることこそが施設引いては市の利益につながるはずである。 氷上スポーツ振興における首都圏の一大拠点として位置付け、建設時点からアイススケート、アイスホッケー、カーリングなど各競技統括団体を関与させ、要望を集約し応じると共にそれ相応の利用やイベント誘致などの便宜を求めるべきである。それら統括団体からも相模原市内や神奈川県内に留まらず、全国的に見て「競技振興のために欠くべからざる施設である」という拠点性の認識が共有されることが望ましい。 概論すれば、練習場として利用されながら集客の期待できる大会などは横浜アリーナ辺りに仮設の氷張って開催されているばかりでは下支えばかりで実利も名誉もよそのものにしかならず、常設施設としての投資の甲斐がない。せつかく建設する以上は各種競技団体との間に相互利益の最大化、その上で相応のギブアンドテイクの関係を求めたい。 銀河アリーナにおいても問題になった老朽化について、施設は将来的に必ず老朽化することを踏まえ、してしまってから改修困難という問題に直面することがないように設計時点から施設面の改修整備や改築などを容易とすることを念頭に置いて整備するべきだと考える。		
28	スケート、スケートリンクの果たす役割(P3)はもっと大きいものであると理解してほしい。 駐車場問題は、横浜銀行アイスアリーナのように1F部分を駐車場にすることで多少なりとも減らせるのではないのでしょうか。 リンク内、もしくはすぐ近くに専門店でなくとも必要なもの(くつ下など)が売っているコンビニのような店があつとよいのではないか。	駐車台数の確保については、自走式の立体駐車場など整備効果も含め今後検討してまいります。 施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
29	新たなスケートリンクに希望すること 楽しめること 滑走者にとって快適で安全であること。 きちんと整氷しないリンクはガタガタでエッジの溝ができ、砂利道のようになります。銀河アリーナも初期と比べると氷に対してメンテの質が落ちた。整氷にかかる時間も短くなり、スタッフの技術の低下もあるのではと感じます。新リンクでは、氷の質にもっとこだわって欲しいです。 利用者用の休憩スペースが整備されれば、客が待ち時間を負担に感じず整氷を待つことができる。 飲食もスムーズにとれる(購入できる)と良い値段も手頃に。高ければ、せっかく売ったとしても客は我慢して買わない。味もそれなりに皆に喜ばれるものを。 例)そば、うどんなど、ありきたりの物は飽きられている。ホットドッグなど簡易的でおいしいファーストフードはどうか？こういう工夫ができる飲食業者がリンクに関わってくれることが良いです。 親子連れで、子供だけが滑走するケースのために見学券(滑らない人のための券)を他のリンクは導入しています。不正入場を防ぐ対策を講じ、こういった券を採用して欲しいです。 私は銀河アリーナに来ると「子供だけ滑っていて、親は外で待っている」というのをよく見かけていて、せっかく家族そろって来ているのに寂しいなと思いながら見ていました。ぜひ他のリンクの良い点は学びとって取り入れることができる運営者を選んで欲しいです。 客の意見を広く聞き、スケートを知っている人が現場責任者に入るような運営が必要だと思います。 銀河アリーナの運営側では、監視員のバイトのスタッフが一番スケートをわかって働い	本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	ていた。事務所から出てこない事務方の人たちは、スケートを全然知らないで場内ルールを作ったり、リンクにコーンを置いて仕切ったりしていたが、本当の安全確保になっていなかったと思う。 新たなスケートリンクは、銀河アリーナの良くなかった点については残さないで欲しいです。		
30	集客力を高め誰でも利用できる施設にすること ①男女別更衣室、リンクサイド休憩室(2室以上で利用者数に合わせて開放、試合、大会時には更衣室室にも転用できる)を整備し利用者の快適性を高める。 リンクエントランスにカフェ(食事)エリアを設置する。施設利用者の食事や休憩の他、施設を利用しない人にも開放することにより収益性を高め、施設の宣伝効果に繋がる。	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ
31	新しいリンクに希望することは、広めのサブリンクと、ショーや試合が行えるように観客席を作っていただきたいのと、フィギュアスケート教室の常設です。 銀河アリーナが休みの夏の間、立川立飛や南船橋の教室に通っております。遠いので通うのが大変です。 相模原に教室が出来れば、帰り道に相模原の商業施設で買い物して帰る等、相模原にお金を落とすこともできます。何卒ご検討いただけますようお願いいたします。	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ
32	銀河アリーナでは、カーリング競技も盛んです。神奈川県で、冬季安定した練習回数を積める銀河アリーナのリンクは、カーリングを知り、実践する機会を提供してくれました。私や私の家族も銀河の体験会を通してカーリングを知り、続けています。また、ミラノ・コルティナオリンピック出場選手の小谷優奈選手は、銀河アリーナ育ちの選手です。今後も、い	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	ろんな世代が相模原でカーリングを続けられる場として、カーリングシートがいくつか作れる広さのアイスリンクや今あるカーリング道具を確保できる場をお願いしたいです。		
33	・新たなアイススケート場は、なるべく銀河アリーナから近くに作ってほしい。 ・アイススケートができる相模原市として認知してもらい、近隣の市や県からも人を呼べるようにするのがいい。 ・中央公園のタリーズや、代々木公園のドトールを見本に、人を呼べるカフェを誘致するのがいい。 ・子どもたちの教育関連費として、税金を投入してほしい。 ・小学校で行うスケート教室も続けていただきたい。 どうぞご検討のほどをよろしくお願いいたします。	施設の規模等については、本年度策定を予定している基本計画の中でいただいたご意見を参考に検討してまいります。 また、スケート教室をはじめとしたアイススケート文化を継承していくことが必要と考えており、いただいたご意見を参考に検討してまいります。	ウ
34	子どもたちが授業でアイススケートを体験できたり、毎週日曜日には市民のスケート教室があったり、相模原市におけるアイススケートの文化は、財産だと思います。 スケート場が市内にあったからこそ、私自身も子どもの頃から生活の中でアイススケートに触れることができました。オリンピック選手のアイスショーも親や子どもたちと一緒に観に行くこともでき、人生を豊かにしてくれました。 せっかくあるスケート場を無くさないでほしいです。施設にメンテナンスは付きものです。多額なお金がかかるからこそ、市政として残してほしいです。 新しいスケート場を作るなら、同じように市民が使いやすい施設にしてください。利用者の意見をよく聞いてほしいです。維持費はかかるものです。必要な経費の確保も願います。	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
7 その他			
35	代替施設完成まで銀河アリーナの継続使用を強く要望します 新施設が利用開始となるまでリンクが使えない期間が生じると、利用者が定着しません。空白期間を生まないためにも、銀河アリーナの使用継続を強く要望します。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
36	一度途切れるとコロナの時のように元に戻るのには相当な時間が掛かる。内容によっては以前のように戻っていない事業等もある。またスピードスケートクラブ等は解散に追い込まれる。(1度止めたら、在籍していた子ども達は2度と競技には戻って来ません。) 是非新リンク開始まで銀河アリーナの廃止を延長して頂きたい。(存続が掛かるのであれば、料金が値上がるのは以前のアンケートでも多くの人が賛同しているので問題無いと思う。但し時限的措置ですが。)	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
37	銀河アリーナの廃止により市内唯一のスケート施設が失われる事は市民スポーツや子供達の育成環境、家族のコミュニケーションの場など多大な影響を及ぼします。 新たなスケート場の整備方針については賛成ですが、新施設の供用開始迄長期間の空白期間が生じないよう、より具体的な整備スケジュールを早期に示していただき生涯スポーツとしても行われるスケート環境が途切れないようによりよろしくお願い致します。 アイススケート場が完成する迄の間、銀河アリーナ廃止時期の延期又は代替え施設を確保しスケート文化が途切れないように配慮をお願い致します。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
38	スケート場は選手育成の為必要と考える プールも市民の健康維持のため、復活願 いたい	本方針については、新たなアイススケ ート場の整備に関することになります。 なお、プールについては、利用者減 少などの理由により令和元年度から 休止しています。中央区横山にある市 立総合水泳場(さがみはらグリーンプ ール)など市内にあります他のプール をご利用ください。	エ
39	銀河アリーナが来年春(令和9年3月)に 閉鎖される予定である一方、新たなアイス スケート場の供用開始が令和13年頃となる計 画と伺っています。この間、約4年間もの利 用空白期間が生じてしまうことになります。 私は海老名市在住ですが、長年にわたり銀 河アリーナを頻繁に利用してきました。家族で レクリエーションとして楽しんだり、子どもを 習わせたりと、非常に身近なスケート場として 愛用してまいりました。相模原市外からも多く の利用者が訪れている施設だと思います。 施設の老朽化は理解しておりますが、何 十年も地域のスケート文化を支えてきた実 績を踏まえ、安全対策を十分に講じた上で、 銀河アリーナの運営をあと数年(できれば 新施設完成までの令和13年頃まで)延長し ていただくことを強く希望します。 特に以下の点をご検討いただきたいです。 新施設完成までの移行期間として、市民・近 隣住民の利用機会を確保する 長年育まれてきたスケート文化の途絶を防 ぎ、競技者や愛好者の流出を最小限に抑える 子どもたちのスポーツ機会が失われないよ うにする 海老名市からも多くのファミリーが利用 している状況を踏まえ、ぜひご検討のほど よろしくお願いいたします。	新たな施設の供用開始までの対応 についても、実現性や効果等を踏ま え検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
40	私は、新たなスケート場の整備を進めること自体には賛成です。しかし、新施設の供用開始までの間に代替施設や代替環境が確保されないまま、現行施設である銀河アリーナを廃止することには反対します。 銀河アリーナは約35年にわたり、市内唯一のアイススケート施設として、多くの市民に利用されてきました。競技者の育成だけでなく、市民の健康増進や交流の場としても重要な役割を果たしています。特に、スケート競技に取り組む子どもたちにとっては、継続的な練習環境が不可欠です。新施設完成までの数年間、市内に利用可能なスケート施設が存在しない状況となれば、競技継続を断念する利用者の増加や、クラブ活動・指導体制の縮小が懸念されます。一度失われた競技人口や活動基盤を回復することは容易ではありません。 また、銀河アリーナは市内小学校のスケート教室や校外学習の場としても活用されており、子どもたちが氷上スポーツに触れる貴重な機会となっています。施設が利用できなくなることで、こうした教育活動の継続にも影響が生じることが懸念されます。 そのため、市には以下の事項を求めます。 3. 代替環境が確保されるまで、銀河アリーナの廃止時期の見直しを検討すること。 4. 小学校スケート教室等の教育活動を継続できる環境を確保すること。 新たなスケート場の整備は歓迎すべき取組ですが、その実現過程において現在利用している市民の活動環境が失われることのないよう、十分な配慮と具体的な移行計画の策定を強く要望します。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
41	新リンク整備完了までの銀河アリーナ延長をお願いします。今の計画では5年もの空白期間が生じ、小学校スケート教室においては経験した世代、していない世代が生まれることとなります。銀河アリーナは近隣リンクでさえかなりの距離があり代替がききにく、競技団体によっては活動をあきらめざるを得ないところもあるかと思えます。また新型コロナ期に一般営業を休止したため他のリンクを利用し始めた人が戻ってこない例も見えています。銀河アリーナのジムも新型コロナ期前の利用者数に戻っていない例もあります。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
42 ・ 43 ・ 44	銀河アリーナが令和9年に3月に閉鎖、新アイススケート場が令和13年開業の見込みとのことですが、令和13年まで、銀河アリーナの営業の延長を希望します。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
45	○ 銀河アリーナが令和9年に3月に閉鎖、新アイススケート場が令和13年開業の見込みとのことですが、その間の数年間、何の手当もないという状況は回避いただき、新アイススケート場の開業までの間は、銀河アリーナの営業の延長を希望し、当然、行うべきものと考えます。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
46	● 銀河アリーナ廃止の延期 新施設がオープンするまでは、現在の銀河アリーナが営業することを強く希望します。 広く知られているように昨今、資材の調達困難や人件費の高騰など、新設予定の公共施設が入札不調で停滞したり、廃止した施設が放置される事態が続出しており、同様に、本計	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	画にも新施設が予定通りにオープンできないリスクを大いに危惧しています。また、冬季オリンピック直後の今年あらたにスケートリンクに通い始めた方が非常に多く、それらが続けられる環境があることや、リンクがない期間によってユーザがスケートの習慣を失ってしまうことを防ぐメリットは大きいです。		
47	2018年に都内から転入してきましたが、“相模原市はスケートが盛ん”ということはありません。 スケートボードの印象は強いです。ランニングコストを考えたら、今後はスケートボードを推進した方が良いのではないのでしょうか。ファッションの流行的にも1990年代のストリートファッションがリバイバルしています。スケートボード推進の追い風が吹いていると言えます。 そもそも、オリンピック選手を輩出したところで地域は潤うのでしょうか。一時のお祭り騒ぎの盛り上がりのために、ごく一部の人しか利用できない施設に多額の予算を割くことは妥当ではないと考えます。 近頃、相模原市の若者による残忍な事件がニュースを賑わせています。都内に住む家族から心配・同情されます。『シビックプライド』を謳うのであれば、若者が犯罪・非行に走らないように子ども支援・教育に力を入れるべきではないのでしょうか。 また、高齢化が進む現状を見れば、特殊なスポーツに力を入れるより、高齢者が気軽に・定期的に運動を楽しめる小規模な施設を点在させた方が市民のためになると考えます。既存のまちづくりセンターの設備改修なども検討していただきたいです。	本市のスケートボードが出来る施設の一つである、小山公園ニュースポーツ広場については、リニューアル工事を実施しました。 また、スケート教室をはじめとしたアイススケート文化を継承していくことが必要と考えており、いただいたご意見を参考に検討してまいります。	工

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
48	アイススケート文化継続のために、4年ものブランクを作らないよう銀河アリーナの延長もしくは代替施設の設置が必要と考える。たとえ期間が短くなったとしても空白をあけないよう検討していただきたい。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
49	スケート歴50年以上、銀河が出来る前の、相模原スケートセンター時代からの70才代のスケート愛好者です。ホッケーシューズを履き、フリースケーティングで一般滑走時間に楽しんでいます。 銀河アリーナオープン以来、定年後は週3回位のペースですずっと通いました。夏場は東大和、マオリンク、山梨小瀬、上尾など、赤レンガや過去には読売ランドも合わせて利用しましたが、どこも、銀河と比べると、一般開放日が少ないなど行きたい時に行けない。制約が多く自由度が低い。フィギュア練習生の為に物理的にスペースを取っていて、生徒の練習が優先されるなか、一般利用者はスキマでかろうじて楽しむ雰囲気です。レッスンが主役の経営は、私の様に自由に遊びたい者にとっては滑りづらく感じます。又、銀河より高い1800円のマオリンク・1800円(冬季シーズン料金)の東大和リンクは、年金生活者私には、どうしても通う回数を減らさなければなりません。 相模原の新リンクには、氷上スポーツの人、私の様に遊びで滑る人やどのような人でも平等に楽しく使えるスケジュール、手ごろな料金が大切だと思います。 私は、スケートを通じて健康や、友人との交流機会を保ってきました。 おかげで大病もせず医者いらずにこの歳まで元気で居られます。対人関係の苦手な私でしたが、仲間が増えるたび口数が多くなり会話が楽しめる力が身につきました。 スケートが私の日常でなくなったら、きっと急	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。 また、新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	に老け込み、人付き合いも無くなるでしょう。 スケート場に行けば同じことを話しをする同年代のスケート仲間も多く、年齢を問わず友人も増えました。高齢スケート愛好者の大切な居場所です。新しいリンクでも元気に滑れるよう、年齢に負けず楽しみに待っています。 出来るならば、空白をなるべくなくす為に銀河アリーナ延長も前向きに考えて欲しいと思います。		
50	①黒字経営にこだわって下さい ・年間を通して集客力を高め、維持する工夫 (例)夏期合宿、各種競技試合等の誘致、適正な料金設定(一般入場、貸切どちらも) ・新しいことへの取り組み 過去の慣習にとらわれず、どんなことでも挑戦できる経営姿勢 (例)カーリング競技の更なる推奨、小学校スケート教室の内容改良、貸切枠の利用促進 ・近隣他リンク(=同業他社、ライバル)との差別化と競争意識を忘れず、「利用客に選ばれるリンク」に。 ②地域貢献 ・リンクを起点とした経済効果、地域振興で、スケートをしない市民や地域社会に利益をもたらす (他県他市から相模原への人の流れを生み出すこと) ・麻溝、相模原両公園やギオンスタジアムなどと相乗効果で麻溝地域に新たな賑わいを。 (スポーツエリアの主役として“市の顔”になることを目標に) ③健全な運営で将来に何世代も持続する施設を目指して下さい。 ・銀河アリーナは市民に支持され人気の施設だったのに老朽化と赤字を理由に廃止を余儀なくされた。 赤字原因を究明、反省し、問題点は改善する	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	こと、同じ失敗を新リンクで繰り返さないことを強く要望します。 ・施設は定期メンテナンスや大規模修繕にしっかりと費用をかけて長く大切に使用してください。 ～総括～ 市庁舎内、担当課内にスケート事業に精通した人材を養成してください。 ・これまで銀河アリーナでは、現場(主に技術面ではパティネレジャー)に丸投げで、庁舎内、担当課等ではスケート事業に対する理解や専門知識が不足していたと見受けられます。指定管理者をつとめたまちみどり社も同様で、残念ながら誇り負っている事業に対する愛情や熱意を感じられませんでした。 新リンクは民営前提ですが、市有地に整備されること、公費は市が負担する点(公設)また、「スケートは市の文化」と公言しているからには市側も一定以上の知見を持つ必要があります。 民間事業者が「活力」を発揮しても、市がそれを正当に評価できる目を持っていないのでは、真に民間活力を市のために活用することができない。スケート場はそれだけ専門性が高い施設です。		
51	アイススケート場は誰でもが楽しめるそして自分ですべれるようになる喜びを達成感を味わうことができるスポーツだと思います。 新にスケート場が出来るまでは、銀河みアリーナで楽しめるようにしっかりと考えていただきたい。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
52	夏季の集客が落ちる対策として、夏季合宿、大会等の誘致、サブリンクのカーリング専用期間、夏季イベントの開催など積極的に行う。手ぶらでも利用できるレンタルウェアも用意する。	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	③誰でも利用し易い低廉な利用料に設定し、他施設との差別化をはかり集客に繋げる。高すぎる料金では利用者を減らす要因になりかねない。 新しい発想と挑戦する姿勢が必要です。 ①相模原市は過去の実績と慣習的にとらわれ過ぎていたように感じていた。例えば銀河アリーナは25年以上も大きな変化も過ぎてしまった。相対的に見れば人口の減少に伴い利用者数も減少してしまったと思う。新しい発想や努力が必要であったと言える。 ②人口減少が続いてもスケートリンクはあります。設計段階から利用者を減らさないように休憩室や諸室、エントランスまで転用できるようにするべきだと思います。もし、利用者が減ってしまったら諸室を涼しい図書館、周辺施設利用者のクーリングスポットに転用するなど発想もできます。少なくとも施設の宣伝はあり「スケートやってみようかな」と思う人を絶やさないようにすることです。 ③過去の実績にとらわれると、魅力の無い施設になりかねない。どこでもあるリンクでは活気に乏しくなる。新しい発想が生まれるような設計や計画に挑戦して欲しいと思います。 全ての市民に貢献し愛される施設にしてください。 ①施設利用者に対して使い勝手が良く快適に利用できること、スケートをしない市民でも経済効果が起きる事で貢献する。カフェで例えると市内の和洋菓子店にスイーツの提供をしてもらう、食事は地元食材を、レンタルウェアはクリーニング等も含め市内の業者に協力して貰うなど市民が参加している意識が必要です。他市の人が利用してくれることで市に経済効果が生じます。 ②人が込雑えない施設になれば、自然とコミュニティの場所にもなります。スケートが		

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	楽しく趣味として続けていた人たちの中では、人見知りや、会話の苦手だった人達がスケートコミュニティで克服できたと言う人も少なくありません。人生が楽しくなったと語る高齢者もいます。 「総括として」 持続可能な施設にする為には、利用者数を減らさずに増やす努力と黒字経営が必要です。 料金を高くするだけでは、市民と利用者には事業者の努力を感じる事が出来ません。新しいスケート場は立地も他リンクに比べ良いとは言えません。他リンクと同等の料金施設を採用すると最初から利用者が減る可能性が有ります。立川市のマオリンクに於いては、知名度があっても料金設定が高かったことから、今でも利用者数は多いとは言えません。 相模原市は新しいスケート場に独自の魅力を高める努力が先にすべきことだと思います。 新しいものへの挑戦として、アドバイザーー民間事業者、相模原市と市民や利用者が話し合う場(実行委員会の様なもの)を設けてください。連携して挑んでいけば必ず「皆に喜ばれるアイススケート場」が実現できると思います。		
53	銀河アリーナは当面つかえるようにしてください。 60年つづいた小学生のアイススケート教室を継続するために新しいスケート場ができるまでのこして下さい。 ○アイススケート場は東神奈川、新横浜と3ヶ所であり相模原市が運営するスケート場は市民の誇りであり市内外の人が利用する事で地域の活性化になる。 ○「公設民営」もやむをえないが市は橋本駅周辺整備推進事業で市役330億もつかい無駄な道路をつくろうとしている。特に大通り線に利用自動車台数を考えられないほど	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	過剰な台数を示して市民をだましてつくろうとしている。無駄な道路をつくるぐらいなら、市営でスケート場を運営して下さい。		
54	藤沢市民ですが、銀河アリーナはよく利用させていただいております。通年リンクになると言う噂を聞いて喜んでいましたが、来年3月で閉鎖されてしまうのはとても残念です。 新しいリンクが作られるとの事なので、一安心しました。が、銀河アリーナ閉鎖から、新スケート場の開業までをなるべく間があかないようにしてほしいです。 新しいリンクの建設に時間がかかるのは仕方ないので、せめてもう少し銀河アリーナの営業を伸ばしていただけませんか？	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
55	新たなアイススケート場の整備場所について、候補地に一長一短あり、そのなかで比較的、整備、利用しやすい麻溝台公園駐車場を選定したのは理解した。 問題点として、交通が不便であることが上げられている。実際、平日は女子美術大学行きバスがあるが、土日の運行数が少なく、現在の淵野辺公園より不便である。小中学生が自力で行くには難しい。土日に大規模イベントがなくても、毎時2本以上のバスを運行できるよう、安定的にバス利用者が見込める環境を整えて欲しい。 選手世代の小学生～大学生が日々通いやすい駅近でのスケート場の整備を希望するが、それが難しく、駅から離れた場所になるならば、通いにくさを低減させる手段を整えて欲しい。せっかく整備するスケート場が、場所の不便さで利用者数が伸び悩むことは避けたい。	施設運営については、いただいたご意見を参考に今後検討してまいります。	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
56	令和9年3月に銀河アリーナが閉館してしまうと、新しいアイスリンクができるまでの間、冬季スポーツの練習チームが練習場所に困ります。新しいスケートリンクが完成するまでは、今の銀河アリーナのスケートリンクを継続していただきたいと強く希望します。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ
57	・新たなアイススケート場ができるまで、銀河アリーナを存続してほしい。	新たな施設の供用開始までの対応についても、実現性や効果等を踏まえ検討しているところです。	ウ